

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 八幡平市内の認定こども園

##### (1) 施設の概要について

園児 93 名、職員 19 名

##### (2) 有症者の状況等

- ア 4月10日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月8日（木）から4月11日（土）にかけて、園児19名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位：人)

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	1	0	2	0	1	5
女	3	5	2	4	0	0	14
計	4	6	2	6	0	1	19

##### (3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 滝沢市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 134 名、職員 40 名

##### (2) 有症者の状況等

- ア 4月13日（月）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月8日（水）から4月14日（火）にかけて、園児19名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	40歳代	
男	6	1	4	0	1	0	0	0	0	12
女	1	0	0	2	3	1	1	1	2	11
計	7	1	4	2	4	1	1	1	2	23

##### (3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

**【県内の発生状況】** (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和2年4月17日	2	0	0	2
平成31年4月1日～ 平成31年4月17日	5 (85)	2 (14)	1 (16)	8 (115)
平成30年4月1日～ 平成30年4月17日	3 (61)	0 (0)	0 (12)	3 (73)

**・ウイルス性胃腸炎の予防方法**

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（宮古市内のグループホーム）

入所者6名、職員2名

- (1) 4月22日（水）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の入居者が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、4月15日（水）から4月22日（水）にかけて、入居者6名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	入居者					職員	計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	50歳代	
男	0	0	0	0	0	0	0
女	1	0	1	1	3	1	7
計	1	0	1	1	3	1	7

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和2年4月27日	3	0	0	3
平成31年4月1日～ 平成31年4月27日	8 (85)	7 (14)	1 (16)	16 (115)
平成30年4月1日～ 平成30年4月27日	6 (61)	0 (0)	1 (12)	7 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（北上市内の保育所）

園児 158名、職員 34名

- (1) 11月26日（木）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、11月16日（月）から11月26日（木）にかけて、園児29名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児1名（既に退院）も含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	50歳代	
男	5	4	5	1	1	2 (1)	0	0	18 (1)
女	1	1	5	3	0	1	1	1	13
計	6	5	10	4	1	3 (1)	1	1	31 (1)

（ ）内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和2年11月30日	5	0	3	8
平成31年4月1日～ 令和元年11月30日	51 (85)	14 (14)	10 (16)	75 (115)
平成30年4月1日～ 平成30年11月30日	40 (61)	0 (0)	7 (12)	47 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（八幡平市内の認定こども園）

園児 95名、職員 18名

- (1) 12月4日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、11月29日（日）から12月7日（月）にかけて、園児14名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員 60歳代	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	5	0	0	1	0	0	7
女	3	3	0	0	0	1	1	8
計	4	8	0	0	1	1	1	15

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和2年12月7日	7	0	3	10
平成31年4月1日～ 令和元年12月7日	53 (85)	14 (14)	12 (16)	79 (115)
平成30年4月1日～ 平成30年12月7日	41 (61)	0 (0)	8 (12)	49 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（陸前高田市内の保育所）

園児 64名、職員 14名

- (1) 1月8日（金）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月4日（月）から1月15日（金）にかけて、園児10名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				計
	0-1歳児	2歳児	3-4歳児	4-5歳児	
男	0	2	0	2	4
女	2	1	1	2	6
計	2	3	1	4	10

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年1月18日	8	0	4	12
平成31年4月1日～ 令和2年1月18日	59 (85)	14 (14)	15 (16)	88 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年1月18日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（滝沢市内の保育所）

園児 134名、職員 39名

- (1) 1月19日（火）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月10日（日）から1月21日（木）にかけて、園児36名、職員5名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	9	4	2	4	1	4	0	0	24
女	7	3	0	1	0	1	3	2	17
計	16	7	2	5	1	5	3	2	41

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者9名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年1月22日	10	0	4	14
平成31年4月1日～ 令和2年1月22日	64 (85)	14 (14)	15 (16)	93 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年1月22日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（宮古市内の保育所）

園児 67名、職員 15名

- 1月25日（月）に、宮古市内の医療機関より当該施設の園児数名が嘔吐、下痢等の症状で受診し、うち1名からノロウイルスが検出されたことを確認。
- 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月15日（金）から1月24日（日）にかけて、園児21名、職員3名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	50歳代	
男	1	3	2	4	1	2	0	0	13
女	0	2	2	0	3	1	2	1	11
計	1	5	4	4	4	3	2	1	24

#### 2 調査結果について

- 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年1月28日	13	0	4	17
平成31年4月1日～ 令和2年1月28日	72 (85)	14 (14)	16 (16)	102 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年1月28日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（久慈保健所管内の認定こども園）

園児 46名、職員 20名

- (1) 2月24日（水）に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、久慈保健所が調査を開始し、2月14日（日）から2月26日（金）にかけて、園児18名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	2	1	5	1	1	0	10
女	2	2	2	1	0	1	8
計	4	3	7	2	1	1	18

#### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年2月26日	17	0	5	22
平成31年4月1日～ 令和2年2月26日	83 (85)	14 (14)	16 (16)	113 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年2月26日	56 (61)	0 (0)	11 (12)	67 (73)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（奥州市内の保育所）

園児 113名、職員 35名

- 3月5日（金）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月1日（月）から3月8日（月）にかけて、園児13名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	5	0	0	0	1	1	7
女	4	0	0	0	2	0	6
計	9	0	0	0	3	1	13

### 2 調査結果について

- 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年3月8日	19	0	5	24
平成31年4月1日～ 令和2年3月8日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年3月8日	59 (61)	0 (0)	11 (12)	70 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（一関市内の保育所）

園児 66名、職員 21名

- (1) 3月10日（水）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、3月8日（月）から3月12日（金）にかけて、園児24名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	3	2	4	0	0	1	10
女	1	6	2	1	0	4	14
計	4	8	6	1	0	5	24

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年3月15日	22	0	5	27
平成31年4月1日～ 令和2年3月15日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年3月15日	59 (61)	0 (0)	12 (12)	71 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（北上市内の保育所）

園児72名、職員29名

- (1) 3月12日（金）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、3月10日（水）から3月16日（火）にかけて、園児14名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員 50歳代	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	6	1	1	0	0	0	0	8
女	4	2	0	0	0	0	1	7
計	10	3	1	0	0	0	1	15

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年3月16日	23	0	5	28
平成31年4月1日～ 令和2年3月16日	84 (85)	14 (14)	16 (16)	114 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年3月16日	59 (61)	0 (0)	12 (12)	71 (73)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（矢巾町内の保育所）

園児 62名、職員 20名

- (1) 3月24日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月14日（日）から3月25日（木）にかけて、園児34名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	2	5	1	5	5	3	21
女	1	0	3	4	4	1	13
計	3	5	4	9	9	4	34

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
令和2年4月1日～ 令和3年3月26日	26	0	5	31
平成31年4月1日～ 令和2年3月26日	85 (85)	14 (14)	16 (16)	115 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年3月26日	61 (61)	0 (0)	12 (12)	73 (73)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（久慈市内の特別養護老人ホーム）

入所者 58 名、職員 42 名

- (1) 3月27日（土）に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の当該施設入所者が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、久慈保健所が調査を開始し、3月21日（日）から3月29日（月）にかけて、入所者17名、職員6名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	入所者 70歳代	入所者 80歳代	入所者 90歳代	職員 20歳代	職員 30歳代	職員 40歳代	職員 50歳代	計
男	1	2	0	0	0	0	0	3
女	2	3	9	1	1	2	2	20
計	3	5	9	1	1	2	2	23

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年3月29日	27	0	5	32
平成31年4月1日～ 令和2年3月29日	85 (85)	14 (14)	16 (16)	115 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年3月29日	61 (61)	0 (0)	12 (12)	73 (73)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

### 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

#### 1 施設の概要について（紫波町内の保育園）

園児 19名、職員 7名

- (1) 3月24日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月18日（木）から3月23日（火）にかけて、園児16名、職員4名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区 分	園児(クラス別)				職員						計
	0歳児	1歳児	2歳児	計	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	計	
男	3	4	3	10	0	0	1	0	0	1	11
女	2	1	3	6	2	0	0	0	1	3	9
計	5	5	6	16	2	0	1	0	1	4	20

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和2年4月1日～ 令和3年3月29日	28	0	5	33
平成31年4月1日～ 令和2年3月29日	85 (85)	14 (14)	16 (16)	115 (115)
平成30年4月1日～ 平成31年3月29日	61 (61)	0 (0)	12 (12)	73 (73)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 内5472】